

Take Free

創刊号

01

かぎふく

和歌山県海南市大崎の暮らし・移住ガイド

地域おこし協力隊ぐりちゃんと巡る海辺の暮らし

風待ち港に
新しい風が福く

和歌山にこんな面白い所があったなんて。
まだ大崎に来たばかりですが、場所も町の雰囲気も含めて大崎には、
まだまだたくさんの魅力が秘められている。そんな気がしています。
これからもっと、この町のことを知っていききたいです。

-大崎地区地域おこし協力隊 富上 史恵-



[http://genkiოსaki.com/](http://genkiোসaki.com/)
〒649-0112 和歌山県海南市下津町大崎 833-5
☎ 073-494-6233

✉ info@genkiოსaki.com

げんき大崎 [Facebook](https://www.facebook.com/GenkiOsaQi) www.facebook.com/GenkiOsaQi

製作 / 編集・ディレクション…大崎 神 (オオサコジン事務所) / デザイン…齊尾 菜里 (m art space) / 取材…大崎 神・齊尾 菜里 / 写真…北山勝哉 (北山勝哉写真事務所)・大崎 神・げんき大崎 / タイトル…富上 史恵
*乱丁・落丁箇所はお取り替え致します。*本誌内容の無断転記、記載、複写はご遠慮ください。*本誌データは 2017 年 2 月現在の情報です。あらかじめご了承ください。
©Genki Osaqi all rights reserved.

映画から飛び出してきたような 港町で紡ぐ自分だけの物語



暖かくて静かな空。
透き通るような海。
水平線に溶ける夕日を毎日眺めながら暮らす
大崎の人々と風景を覗いてみよう

こし協力隊に選ばれた富士史恵さん（通称ぐりちゃん）と一緒に、自然や食、町並み、人々の交流など様々な角度からスポットを当てた大崎のありのままの暮らしを特集します。

大崎初の地域おこし協力隊員ぐりちゃんについて

ぐりちゃんは、大崎に移住するまで日本各地、アジアなど様々な場所で暮らした経験もある旅人です。

そんな彼女が当時、次の引っ越し先を探していたときに、大崎の地域おこし協力隊の募集を偶然知ります。大崎の明るく穏やかな空気と優しい地元の人たちに惹かれていたぐりちゃんはすぐに応募を決めました。

地域おこし協力隊の受け入れ先である、げんき大崎の方々も彼女の明るく人懐っこいキャラクターに加え、やりたいことや経験が求めていた人物像に合っていたこともあり、無事に採用

となったそうです。

今回の特集では、本誌を読まれる方と同じ視点を持つヨソモノであるぐりちゃんが主人公。大崎に恋をして移り住んだ彼女と一緒に今から大崎の町を探検してみよう！

※1 帆船が使われた時代に船が順風を待つために利用した港

げんき大崎とは

げんき大崎は、和歌山県海南市下津町大崎という地区の魅力発見と地域活性化を目指す有志のグループとして平成19年に発足しました。平成26年には、総務省の過疎集落等自立再生対策事業に採択され、課題となっていた加工・販売所「げんき大崎館かざまち」が実現し「地域の魅力を創り出す！げんき大崎プロジェクト」を掲げて、地区外の方々と交流と区民の助け合いを目指した地域づくり・情報発信に取り組んでいます。

はじめまして！
ようこそげんき大崎に！



はじめまして！
大崎の地域おこし協力隊に赴任した
富士史恵です！
(通称ぐりちゃん)



それでは、
今から大崎の町を
探検してみようっ
Let's go!



地域おこし協力隊って？

地域おこし協力隊（ちいきおこしきょうりょくたい）とは、都市地域から地方等に生活の拠点を移し、そこに居住しながら、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援等の「地域協力活動」を行います。

- 総務省から引用 -

Web ページ、Facebook でも発信中！
URL [http://genkiოსaki.com/](http://genkiোসaki.com/) / FB www.facebook.com/GenkiOsaQi

「かざふく」は和歌山県海南市下津町大崎という小さな港町の暮らしや移住について紹介するガイドブックです。県庁所在地である和歌山市から車で約40分。万葉集にも残るほど昔から自然の良港として栄えた、風待ち港^{※1}大崎。日本各地の地域と同じくこの集落でも過疎化が大きく進み、現在では人口わずか521人となりました。その反面、不便な土地だからこそみんなが助け合う文化が今なお続いているこの地域では、まちの人が自分たちのまちを面白い場所にしようと一致団結して「まちづくり」に活発に参加しています。その活動の輪は、地元だけでなく地域外との交流、移住支援などにも広がっています。そんな風待ち港に新しい風（人）が吹いて欲しいと、大崎の暮らし、移住ガイドである本誌のタイトルを「かざふく」と名付けました。創刊号となる今回は、2016年10月に大崎で初めての地域お

青空と海の町



自称和歌山のエーゲ海!?
青空と海がよく似合う町

都市から離れ、山の中をくねくねとしばらくドライブすると、これまでと全く異なる景色と町並みが現れます。まるで映画の世界に出てくる港町のような穏やかでエメラルドグリーン美しい海を持つその場所は、大崎の人曰く「和歌山のエーゲ海」と自称するほど不思議な空気感を持った場所です。

自然によってできた小さなUの字型の湾口には、寄り添うように家が並んでいます。

主な産業は海運業、漁業、わかめ養殖業、農業（みかん栽培）などで栄えてきました。

周辺には、小さな子供でも泳いで遊べる「白木浜」や、無人島「弁天島」が浮かんでいるため、当時小学校があったころは白木浜から弁天島まで泳いで渡る「遠泳」が毎年恒例の行事として行われて

ていました。

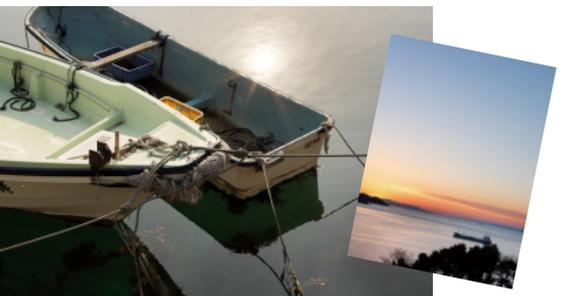
海と山の恵みとアクティビティを身近に体感できるのもこのエリアならではの。

ちなみに、ぐりちゃんの大崎での第一印象は「街中からそんなに離れていないはずなのに島にきたみたい！いつ来ても明るくて陽の光が濃い気がする」だったそうです。



泳いで遊びに行ける無人島！

港からすぐ目の前にある小さな無人島「弁天島」は地元の子どもたちが泳いで遊びに行っていたほど、今も昔も地元大崎のレジャースポット



ゆっくり海に溶けていく夕日を眺めて

小さな港町は都会と比べれば不便なこともいっぱい。それでも水平線に沈む夕焼けを毎日眺める暮らしはきっと「ここに住んでよかった」って眩してしまう魅力を持っている。



いつも穏やかで 透明度の高い海

大崎に来てまず驚くのが、波の静かさや透明度の高さ。エメラルドグリーンの海は底を覗くと海藻や魚たちの泳ぐ姿まで見ることができる。



まちを歩くときさわやかな
海風がいつもここちいい。

インタビュー

山中誠也さん
げんき大崎代表



普段は作業手袋の製造販売業を営んでいる山中さんは、代々大崎で暮らす家系を持つ生粋の大崎人。衰退していく自分の町をなんとかしたいと、げんき大崎代表としてメンバーと共に盛り上げている。大崎には子育て世代や若い方たちが来てもらえる嬉しい。仕事は問わずこの町に活気をもたらしてくれるような方であれば大歓迎。過疎化していく中でも、住民同士が互いにゆったりと繋がった関係で生活できる、持続可能な地域であってほしいと願っています。



大村建さん 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊として2017年4月より赴任。大阪で建築士として働いていたが、退職後、知人の紹介で偶然、現在の家を借りることになったそう。普段は、げんき大崎が管理する畑で農作業に従事。農作業は未経験ながらも面白いと語ってくれた。この町では、流れる時間がゆっくりで、自分のペースで過ごせるのが魅力。「風を待つ」港町なので、良い風を起こしたり集めていきたい。地域のために自分が出ることから、一歩ずつこれから取り組んでいくつもりです。



富上史恵さん 大崎地区地域おこし協力隊

ハーブ園や農業をしたくて引っ越し先を探していた所、大崎で地域おこし協力隊の募集を知り応募。普段は、かざまちの運営サポートや春から始まるハーブ園の準備。魚の捌きなど未経験だったが今ではすっかり上達。大崎は、たくさんの可能性が秘められたエリアだと思います。ここに来てまだ4ヶ月なので具体的には定まっていますが、カフェ、スタジオ、アトリエ、ゲストハウスなど色んな未来を想像しながら任期の3年を過ごしたいです。

溝上千裕さん
専業主婦



大崎生まれ大崎育ち。旦那さんは地域外の方だったが、千裕さんの祖母宅を改装して居住。長女の皐月ちゃんは1歳。長男の蓮くんは生後1ヶ月。病院や買い物は地区外まで車で移動。子どもたちが小学校に行く時はタクシーを利用できるので将来利用予定。大崎の好きなのは、地元の人がみんなやさしい所とキレイな夕日。これからも大崎に住み続けるので、お店ができたり、子どもが増えたりなど大崎がもっと面白くなってほしいです。



大崎の人たちは明らかでヨソモノにも優しい。昔は宿場町でも来えていたことから外の人や色々な価値観を受け入れやすいのかも知れません。新しい風となる移住者が増え、土となる地域の人々が混ざり合うことで、また新しいエネルギーや文化が生まれる。ぐりちゃんもすっかり町のみんなのアイドルとして人気者のようです。

風と土。
混ざりあって
暮らしが生まれる



どの家も台風対策として屋根を低く作られているので、少し階段を登ると海がよく見える。



大崎さんぽ



たばこやお酒、お菓子など日用品を販売している土佐屋さん。当時、四国からの船の往来が多かったため四国にちなんだ屋号を付ける店が多かったとか。



お祭り、イベント

秋祭り

大崎地区では、毎年10月20日に氏神の稲荷神社の秋祭りが行われています。稲荷神社は旧大崎小学校の運動場に隣接しており、この秋祭りの宵宮が大勢の区民が集まる数少ない機会となっています。



大崎WINTER PICNIC

地区内外の人々が地元の食材をワインとともに味わう交流イベントとして旧大崎小学校体育館で2017年2月19日に開催。和歌山、大阪、東京といった地域外の参加者を中心に約100名の人々が料理とともに大崎の風景、町並みを楽しんでもらいました。



その他

大崎の昔を振り返る写真展、遠泳体験の実施、復活盆踊り、秋祭りイベント、ワカメ・レモン・ブルーベリー刈りによる食の体験クラブなど。地元の方、地域外の方を対象としたイベントなどもげんき大崎が主体となって開催しています。



大崎の歴史

大崎には、
 「大崎の荒磯の渡り延う葛の行方も無くや恋ひ渡りなむ 詠み人不詳」
 「大崎の神の小浜は狭けども百船人も過ぐといはなくに 石上乙麻呂」
 と万葉集の歌に詠まれるほど、遠い昔から海を中心に綿々と受け継がれてきた歴史と生活があります。
 一九六〇年代には約一、二〇〇人いた人口も現在では、約五〇〇人と半分以下に。人数は縮小してしまいましたが、地域活性の活動に自主的に参加する人も多く、地元の人たちが自分たち自身で町を盛り上げようと様々な活動を元気に広げています。



かざまちと大崎の食

海がすぐ近くにある大崎の暮らしの魅力は、なんといっても新鮮な魚介類が手に入ること！その他にも、わかめやひじき、みかんやレモン、ブルーベリーなどのフルーツ類までも豊富に栽培されています。げんき大崎では、そんな大崎や近隣産の食材を気軽に購入してもらえるよう週に1度、漁協倉庫を改修した直売所「げんき大崎館かざまち」にて販売しています。営業の日は毎回たくさんの人で賑わい、オープン30分で売り切れてしまうことも。

■営業日 毎週土曜日 午前10:00～午後2:00
 鮮魚と惣菜は数量に限りがありますので、営業時間中でも売り切れることがあります。また、天候により漁にいけないとき、鮮魚がない場合がありますのでご了承をお願いします。2017年3月よりかざまち2Fにてカフェ営業が始まりました。



朝水揚げされたばかりの鮮魚



アジアカエビ



生わかめ



かざまち揚げ



最高に美味しい生わかめ！ここにきてはじめてわかめのしもじゅうぶ食べました！



ひとつずつ手作りのあせ寿司



釜揚げひじき

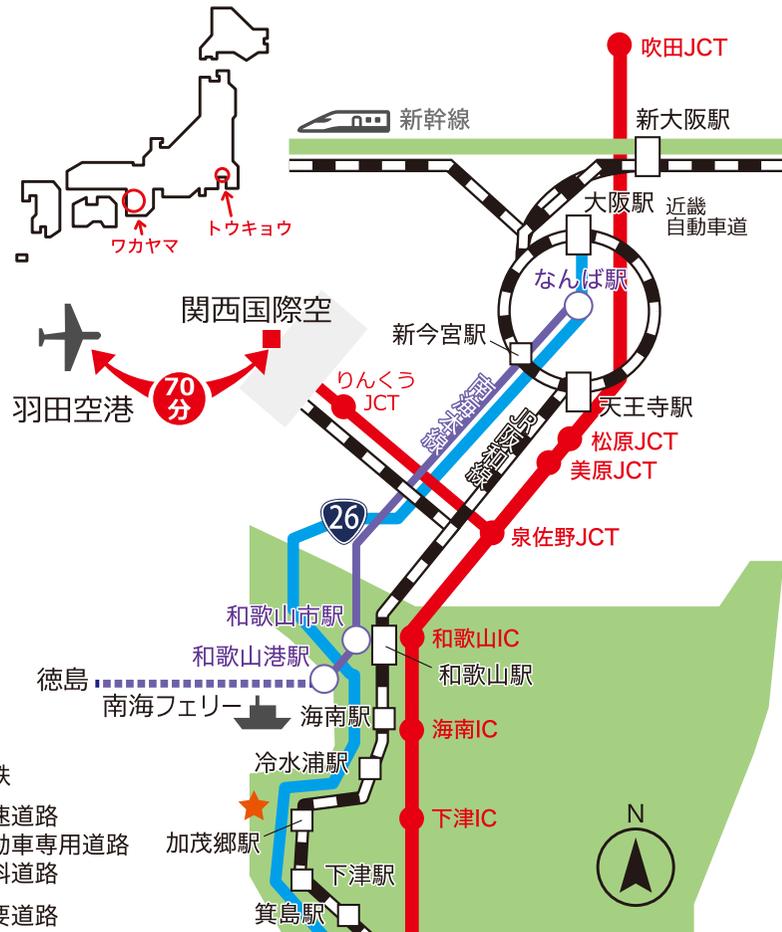


地元のおばあちゃんが作る野菜

かざまち人気食材

大崎アクセスマップ

全国から大崎へ



最寄駅のJR加茂郷駅まで車で約8分
和歌山市中心部まで車で約40分、阪和自動車の海南ICまで20分の立地



大崎の拡大マップ

大崎移住HOWTO

まずは、移住とか難しいこと考える前にぜひ大崎に足を運んでみよう！

1 移住の目的を決める

自分や家族が何のために移住するのか？何をしたいか、どんなところに住みたいか、を明確に決めておく大きな判断基準となってくれます



2 情報を集める

Web や紙媒体での情報収集。移住相談会などに参加もおすすめ。げんき大崎では冊子、Web サイト、Facebook 上でも情報発信を頻りに行っています



3 大崎に足を運んでみる

大崎について気になった方は、ぜひ実際にお越しください。げんき大崎や行政の移住支援サービスに相談いただければご案内させていただきます

大崎は歩いて1周30分くらい！

4 住まいをさがす

大崎に住む！と決まったら次は住む所。空き家バンクの利用や、げんき大崎にてご相談いただければ、購入または賃貸物件をお探しいただけます



6 移住を実行！

住まいとやりたいことが決まったら、いよいよ大崎での暮らしがスタート。ぜひ地域の中に思い切って溶け込んで、自分だけの大崎の暮らしを楽しんでみてください



5 仕事をさがす 起業を計画

大崎は山と海に囲まれた地形のため、飲食店その他起業を希望される方はもちろん、農業・漁業をしたい方にとっても夢が実現できる場所です。県や市などの支援制度も有。



お問い合わせ先 / 海南市産業振興課 073-483-8464

現地の見学や移住に関するご相談は、海南市産業振興課または、げんき大崎まで。移住支援について詳しくは、わかやま定住サポートセンターや移住支援ガイドブックなどもご参考ください



げんき大崎
☎ 073-494-6233
✉ info@genkioosaki.com
和歌山県海南市下津町大崎 833-5

Webサイト <http://genkioosaki.com/>
Facebook www.facebook.com/GenkiOsaQi

WAKAYAMA LIFE
- 和歌山移住ポータルサイト -
www.wakayamagurashi.jp